

瀬戸内紀行

事務局長 池田良穂

鳥取の境港(さかいみなと)にある境港(さかいこう)の構想委員会に出席のため、境港まで車でいくことにしました。委員会は火曜なので、月曜午後には鳥取に入って1泊してからと思っていたのですが、土曜に「日本の旅客船2」の編集作業をしていて、小倉～松山間の「フェリーくるしま」と「フェリーはやとも2」の新塗装の姿の写真がまだ入手できずにいましたので、思い切って日曜に松山に寄ってから、しまなみ海道で瀬戸内海をわたり、北上して鳥取に入ることにしました。梅雨もまだ明けておらず、曇りの予報だったのですが決行することにしました。

神戸と小豆島・高松を結ぶジャンボフェリーも船首に「猫」の塗装をしたとのニュースもあったので、その撮影もできそう。8時発の「りつりん2」に乗船して、小豆島の坂手経由で高松には13時前に到着。そのまま高速道路を走って15時過ぎに松山観光港に到着しました。そこには真っ白の塗装に塗り替えられた「フェリーくるしま」が停泊していました。船体にはISHIZAKIの大きな文字が入っています。石崎汽船の傘下に入って、しばらくは関西汽船のカラーで煙突のファンネルマークだけが変わっていたのですが、ついに石崎カラーに変身したのです。石崎汽船の広島・松山航路の「旭洋丸」の写真の一部も不足していたのですが、ちょうど松山観光港に入港するのに遭遇。ラッキーでした。

松山で一泊して、翌朝は姉妹船の「フェリーはやとも2」の写真も撮影することができましたが、生憎の雨模様。しまなみ海道に入った頃には土砂降りになり、橋を自転車でわたる親子連れが何組もいて可哀想でした。

その土砂降りの雨も生口島の手前で上がりました。昨日撮影した「旭洋丸」のことが脳裏をかすめ、現在、新船が内海造船で進水したというニュースを思い出し、急遽、生口島で高速道路を降りて、内海造船の対岸の道路に行きましたが、艀装中の貨物船とRORO貨物船の姿しか見えませんでした。記憶違いかとも思いましたが、内海造船のすぐ横の「沢港」のフェリー桟橋まで行ってみると、艀装中の新「旭洋丸」の姿をみることができました。



神戸港での「りつりん2」。猫のイメージだそうで、「にゃんこフェリー」ののぼりがたくさん旗めいていました。



途中で反航した両船「こんぴら2」の船首にも、同じ猫のマークがありましたが、目のデザインが違っていました。



松山港で石崎汽船の3フェリーのそろい踏みとなりました。「フェリーくるしま」(右奥)、「旭洋丸」(左)、「瑞光」(手前)です。



日本の旅客船1」では、会社のHPの写真しか掲載できなかった中島汽船の「すいせい」の写真も撮影できました。中島汽船も石崎グループに入ったとか。



翌朝、「フェリーはやとも2」が停泊していました。



瀬戸田の内海造船の艦装岸壁には貨物船とRORO船の姿しか見えませんでした。



沢港から内海造船で艦装中の新「旭洋丸」の姿を撮影することができました。もうすぐ登場です。



沢港の沖を高速旅客船「シトラス」が走行して行きました。港のフェリーの切符売り場の男性が、「先日も船の写真を撮影している若い人がいたよ」と言っていました。ここも、シップウォッチングのポイントになっているようです。